

科目名	政治学特殊講義 I		
担当教員	丸山正次	科目区分	選択必修科目
開講区分	前期	単位数	2単位
曜日時限	金曜・1時限	開講年次	1年
到達目標	市民生活を送る上で基本となる政治的な価値をめぐる近代的なイデオロギーについて、正確な理解と応用能力を育成する。		
授業概要	<p>政治を動かすものは何か？ これは永遠の難問であるが、大きく分けて二つの要素がその答えを提出している。一つは、政治は「利害」によって動くとする答えである。人間が絶えず利害に基づいて行動していることは、利にさとい動物としての人間を見れば明らかなので、これは有力な解答の一つと言えるであろう。</p> <p>しかし、人間は「かすみを食って生きてはいないが」しかし、「損得だけでは行動しない」のも人間である。人間が動物と異なるのは、人生の目標とか目的を求めて行動することである。因果関係からみれば、利害は原因に当たるが、目標は原因とは異なる。目標は到達先を示すもので、行動の結果点を指し示している。</p> <p>この目標はしばしば「価値観」によって導かれている。もちろん、この価値観も利害とまったく無関係に存在するわけではないが、しかし「価値観」は利害に還元できない理想の部分や、あるいは道徳的な内容も備えている。その意味で、人間は「観念的な動物」でもある。</p> <p>この授業では、人間のこうした観念的部分によって成り立つ政治、すなわち、政治哲学の解明をねらいとしている。人類はこれまで多くの政治哲学を作ってきたが、現代のわれわれにとって大きな意味を持っているのは、「イデオロギー」と呼ばれる哲学が登場した19世紀以降の政治哲学である。それらは現代の政治におけるさまざまな観念を根本的な部分で基礎付けている。</p> <p>私の講義では、この現代政治哲学の基本的な内容及びそのいくつかのバリエーションを論じることとする。前期のIで取り上げるのは、政治的価値観の基本を構成している自由主義と保守主義と社会主義である。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	政治とは何か		
第2回	政治学における政治的観念の意義		
第3回	イデオロギーとは何か		
第4回	古典的リベラリズム		
第5回	ニューリベラリズム		
第6回	現代リベラリズム		
第7回	ヨーロッパの保守主義		
第8回	アメリカの保守主義		
第9回	現代保守主義		
第10回	社会主義の理念		
第11回	マルクス主義		
第12回	社会民主主義		
第13回	リベラリズムと正義論		
第14回	リベラリズムと正義論以後		
第15回	19世紀におけるイデオロギーの配置状況		
準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	指定されたテキストを熟読し、指定された部分についてのレジメを作成してくる。		
評価方法・基準 ・講評の方法	①授業時でのレジメの報告と討議(60%)、②最終的なレポート(40%) 講評についてはメールやLMSなどの手段を使ってフィードバックする。		
テキスト・参考書	川崎修・杉田敦編著『現代政治理論』(有斐閣, 2012年、¥2000)		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	受講生の知識・語学能力レベルに合わせた質問・説明に努める。		

学生への メッセージ	政治学を学部で学んでいなくても、学習可能になるようにするが、予習は必ずしてくること。
授業に参考と なるサイト	授業のなかで指示する。
関連する画像	
その他・備考	